

『愛し青春の旅だち』の
ティラー・ハックフォード監督が贈る
鮮烈なセクシユアル・サスペンス！

女は、逃げた。
男は、追いつめた。
いま、愛が燃え
危険が迫る！



ティラー・ハックフォード監督作品

カリブの熱い夜

愛、時には、最も危険なゲーム。

レイチェル・ウォード・ジェフ・ブリッジス ジェームズ・ウッズ

"AGAINST ALL ODDS" アレックス・カラス ジェーン・グリア リチャード・ウィドマーク

製作総指揮/ジェリー・ピック ミュージック・スコア/ミッシェル・コロンビエ&ラリー・カールトン 脚本/エリック・ヒューズ 製作/ティラー・ハックフォード&ウィリアム・S・ギルモア

監督/ティラー・ハックフォード

オリジナル・サウンドトラック/ワーナー・バイオニア

DOLBY STEREO コロムビア映画提供

©1984 COLUMBIA PICTURES INDUSTRIES, INC.



カリブの 熱い夜

もっと熱く！もっと激しく！
カリブ海に燃え上る
"危険な恋人たち"の愛と官能——。

●妖しいまでに美しく、生々しいまでにリアルな演技——。ハイグレードに完成された女優レイチェル・ウォードが、凄い！

贅りを帯びた黒い瞳、官能的な唇、スリムながら肉感的な肢体……。その妖しく、美しい魅力はどんな男でも狂わしてしまう。しかも、気まぐれで、奔放で、悪がしこく、とびっきりセクシーで、男には大変扱いにくい女ジェシー。だが、そんな彼女でも一度愛した男には、全てを捧げてしまう——。

「シャーキーズ・マシーン」のレイチェル・ウォードは、今回初の主演作で見事この難役を演じきり、全米映画ファンを驚嘆させた。

ニューヨーク最高のファッション・モデルでもある彼女だが、あのフランシス・F・コッポラ監督の大作『コットン・クラブ』の主役の座を蹴ってまで、出演を熱望。それだけにジェシー役に彼女が賭けた意気込みは凄まじく、大胆な体当たり演技を見せている。



●ミュージック・シーンをリードする——
全米大ヒットの「見つめて欲しい」ははじめ話題の
シティ・サウンドがざっしり！

この作品の大きな“聴きどころ”となっているサウンド・トラックも凄い話題だ。

参加メンバーは、全米ヒットチャート急上昇中のテーマ曲「見つめて欲しい」を歌うフィル・コリンズはじめ、ラリー・カールトン、マイク・ラザフォード、ピーター・ガブリエル、スティービー・ニックス、4月来日予定の“ビッグ・カントリー”、BLACK-50のCMに登場した“キッド・クレオール & ザ・ココナッツ”(映画にも特別出演ノ)ら、超ビッグなアーティスト達。スマートで、ファンキーで、スリリングなシティ・サウンドが、映画の情感を見事に盛り上げている。

●全ての女性たちを魅了する、衝撃のセクシュアル・サスペンス！

テリー(ジェフ・ブリッジス)は元花形プロ・フットボーラー。肩の故障でチームを追われた彼は、高級ナイトクラブのオーナー、ジェイク(ジェームズ・ウッズ)に雇われた。ある日突然ジェイクのもとを去り、常夏のリゾート・アイランド、コズメルに姿を消したひとりの女を捜すために。

その女、ジェシー(レイチェル・ウォード)の消息は誰も知らなかった。だが、テリーは執拗に彼女を追ひ、遂に出会う。栗色のショートヘア、大きく開いた胸元、スラリとのびた脚……。テリーは彼女にすっかり魅せられ、彼女もすがるようにそれに答えた。夜となく、昼となく、ふたりはムセかえる熱気の中で、火照った肢体をさらに熱くたがらせて……。だが——その時、愛の局面は大きく変わった！

だが——その時、愛の局面は大きく変わった！



●アメリカ映画界のニューパワー、俊鋭テイラー・ハックフォード監督が「愛と青春の旅だち」に続いて、鮮烈な映像を見せる！

逃げる女がいた。追う男がいた。ふたりは出会った。そして目芽えた愛は、激しい憎悪に変わった——。

カリブ海とロサンゼルスを舞台に、ミステリアスな出会いで結ばれてゆく男と女。その果てしない愛と欲望の姿を、鮮烈な映像に焼き付けたのは、「愛と青春の旅だち」の俊鋭テイラー・ハックフォード監督。

前作を凌ぐ冴えた演出ぶりで、今やアメリカ映画界を代表する監督に急成長した。



全米大ヒットNO.1/
“見つめて欲しい”挿入—
カリブの熱い夜
オリジナル
サウンドトラック
5月25日
ワーナー・パイオニアより発売!!

公開
59.6.--
大劇